

決算説明会

2021年11月
株式会社タダノ

Tadano Ltd.

2021年度中間期実績と通期予想

【中間期実績】

- 中間期としては19年度以来の営業黒字
- 欧州事業再生手続き効果による固定費圧縮が寄与

【通期予想】

- 期初予想を据え置き
 - ①受注状況は順調
→日米を中心に回復基調
 - ②調達難による生産混乱、原材料価格の高騰
→欧州事業への影響懸念

コロナ禍影響

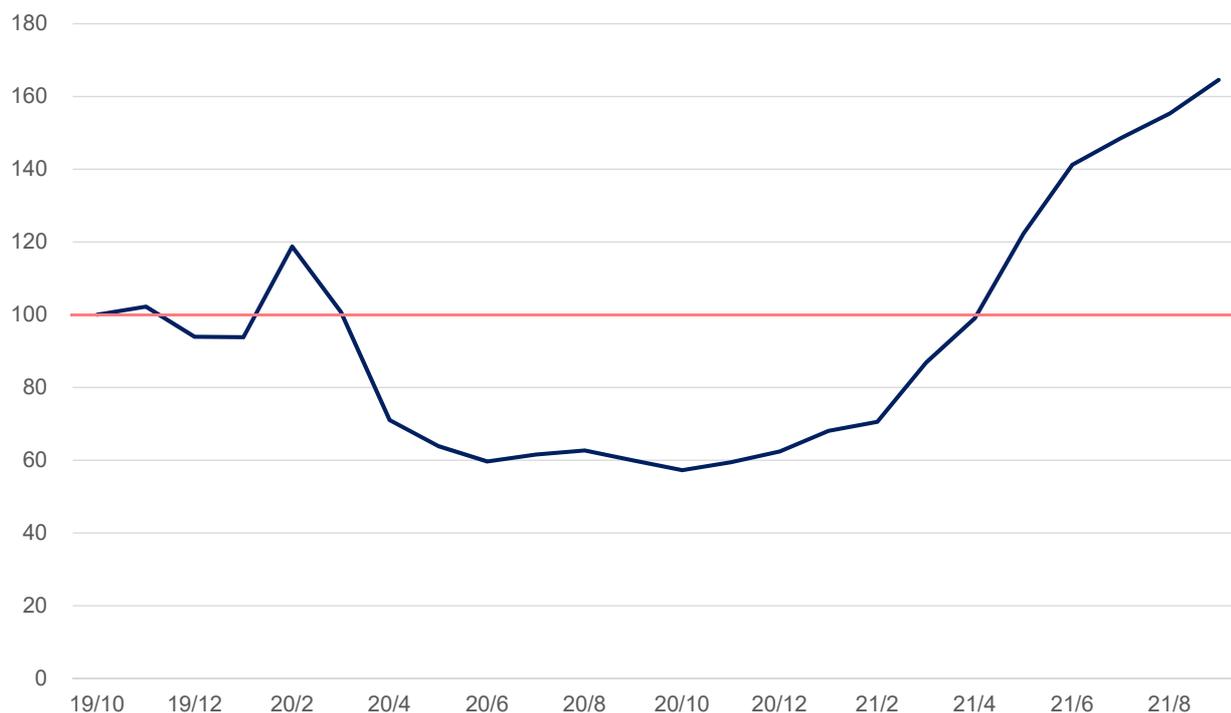
コロナ禍影響(需要台数)

(単位: 台)

地域	2020年				2021年		
	1月-3月	4月-6月	7-9月	10-12月	1月-3月	4月-6月	7-9月
日本	620	250	410	240	480	260	420
中東	160	110	90	120	140	120	150
北米	280	230	220	240	210	280	230
欧州	410	360	330	300	350	370	300
中南米	50	60	20	70	60	80	140
アジア	360	270	150	240	310	340	360
その他	290	390	220	290	420	520	620
合計	2,170	1,670	1,440	1,500	1,970	1,970	2,220

← コロナ前

2019年10月のグループ受注残高(金額)を100とした指数の推移



調達関係の現状

➤ 部品納期遅延

日本：香西工場(9日間)、志度工場(1日間)の
操業一時停止

→今期中にリカバリー

欧州：一時時短操業対応

→生産効率ダウンによる原価率悪化

➤ 原材料価格高騰

来期以降本格的な影響を懸念

→価格転嫁にて影響をミニマイズ

欧州事業再建進捗

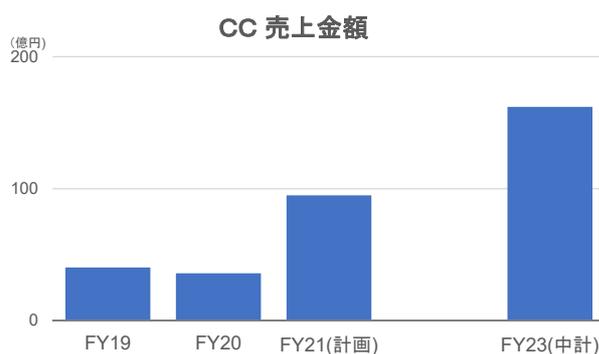
21年度： 売上遅延・原価率悪化影響を固定費削減で
カバーしきれず、期初計画より営業利益は下振れ
中期計画：黒字化時期は変更なし

【再生計画の取組】

- 生産体制の垂直統合進捗中、各機能で「One Production」「One ERP」「One・・・」活動
- TDG・TFGで重複していた販社の統合完了（イギリス・フランス・オランダ・ベルギー）
- 初のTDG・TFG共同開発機種を1月に投入予定、4年間で計15機種の共同開発機種を順次投入

※TDG/TFG:ドイツ製造子会社

- 9月末に2週間に渡る Customer Event を開催、新生TDG・TFGをアピール
- グループ総力を挙げ、新たな柱としてCCを拡販



※TDG/TFG:ドイツ製造子会社、CC:クローラクレーン



ドイツZweibrückenでのCustomer Eventの様子

風力発電関連の取組み

10

風力発電関連の取組み

【クローラクレーン(CC)】

洋上風力発電のプレアッセンブル拠点や、陸上風力発電現場において活躍

建設だけにとどまらず、メンテナンス、解体などライフサイクル全てにおいて使用される



CC 88.3200-1TWINの作業例

【オールテレーンクレーン(AT)】

陸上風力発電の建設やメンテナンス作業で活躍



国内最大級の吊上げ能力700tを実現したAR-7000N



陸上で風車のブレード据付を行うAT



港湾で風車の部材積込を行うCC



陸上で風車のブレード据付を行うCC

11

【ダビットクレーン】

洋上風力発電設備に欠かせない荷役作業を担う小型クレーン(新規開発中)



新規開発中のダビットクレーンの作業イメージ

【高所作業車】

国産最大地上高の新型モデルを始めとして、風力発電のメンテナンス作業で活躍



国産最大の地上高と作業半径を誇るAT-530CG

AT-530CGの作業例

ESG・SDGsの取組み

- PPAモデルによる太陽光発電設備を香西工場に導入、香西工場の使用電力の約18%相当のCO2を削減



香西工場の太陽光発電設備

- 電動油圧ポンプによるクレーン作業を実現した「E-Pack」は、CO2排出量削減や燃料消費量の改善、低騒音作業などに貢献、今後搭載機種を増やしていく



電動油圧ポンプユニットの「E-Pack」

※PPA : Power Purchase Agreement (電力販売契約)

Lifting Solutionへの進化

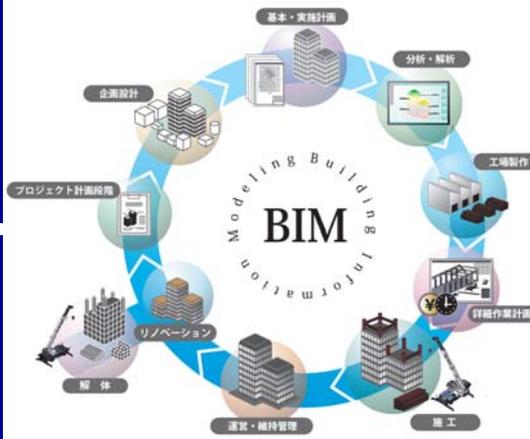
建設現場の企画設計～施工計画～施工～維持管理まで、より安全・正確・効率的な現場となるソリューションを提供しております



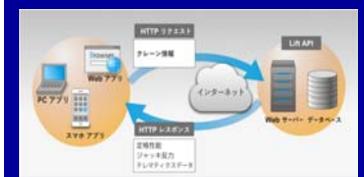
BIMデータ提供
BIMObject®、および、タダノWebサイトで、移動式クレーンのBIMデータを公開



ゲンバデサポート
カーゴクレーンご利用中の「困った」を解決するスマートフォンアプリを提供



現在進行中



Lift API
実機の性能演算機能やテレマテックステータスを、インターネットを介して提供する仕組み



AIによる自動操作

※BIM: Building Information Modeling (ビルディング インフォメーション モデリング)

クレーン自動操作に向けて(AI活用)

【背景】

- ・クレーン作業現場は、**複雑・危険**
 - 狭所・夜間作業、多くの機械・人による同時作業
 - 僅かな操作ミス→吊荷の大きな揺れ→大事故につながる
- ・クレーン操作は、**熟練オペレーターの経験と勘に依存**してきたが、建設業就業者の高齢化の進行、新規入職者の減少による働き手不足深刻化
- ・BIMとのデジタルデータとの融合+**AI活用**により、**熟練オペレーターの操作を再現・自動化** →安全・効率的な作業を実現したい

AI アルゴリズムコンペ

- ・クレーンの自動操作シミュレーターを使った業界初のAIアルゴリズムコンペ「クレーン巡回操作最適化チャレンジ」を21年9月に開始
- ・業界が抱える課題を世界中の英知を集めたオープンイノベーションの取組みで、共に解決していくことを目指す



※BIM: Building Information Modeling (ビルディング インフォメーション モデリング)

ONE TADANO推進

18

ONE TADANO推進

- 「Demag」「Mantis」ブランドを、
 全て「Tadano」ブランドへ統一
- 「ONE TADANO」として製品ブランド力を強化



19

Appendix I

2021年度 中間期決算の概要

20

決算のポイント

- ✓ 中間期としては19年度以来、2年ぶりに営業黒字
- ✓ 欧州事業再生関連収益等を特別利益に計上

(単位：百万円)

	20年度中間期		21年度中間期		増減率
	金額	比率	金額	比率	
売上高	91,106	100%	98,680	100%	8.3%
営業利益	-1,038	-1.1%	2,476	2.5%	-
経常利益	-1,590	-1.7%	2,246	2.3%	-
親会社株主当期純利益	-2,566	-2.8%	11,387	11.5%	-
設備投資額		3,242		1,970	
減価償却費		2,457		2,664	
※設備投資にはリース資産分を含んでおります。					
USD		108.27円		107.69円	
EUR		119.30円		129.82円	

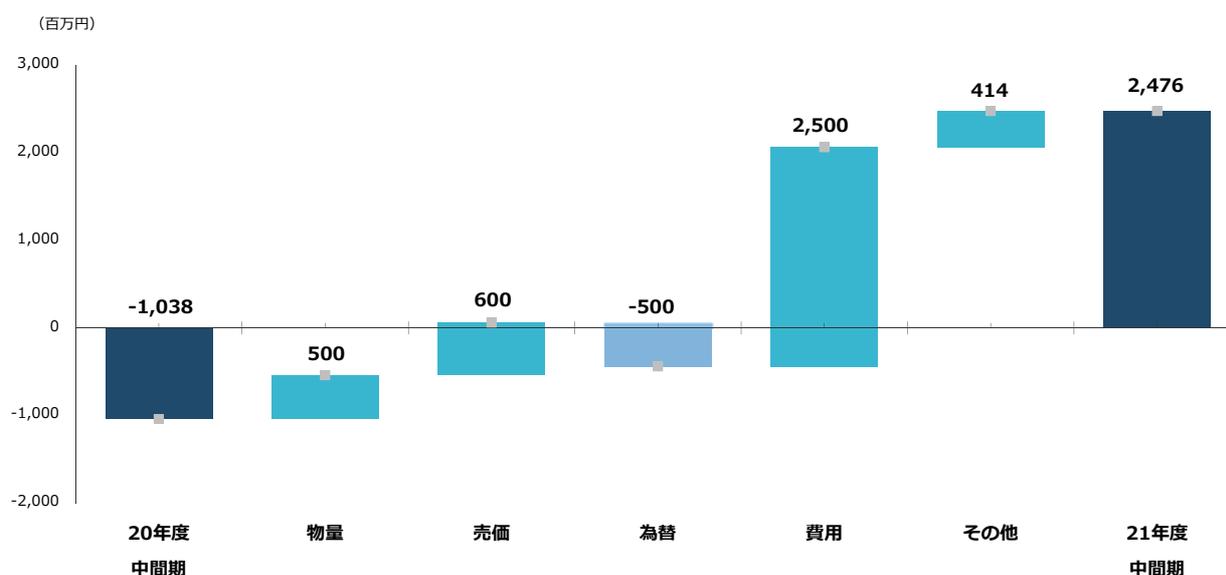
- ✓ 売上増加
- ✓ 欧州事業再生手続き効果による増益

(単位：百万円)

	20年度中間期		21年度中間期		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	91,106	100%	98,680	100%	7,574
売上原価	72,805	79.9%	77,505	78.5%	4,699
割賦販売利益	32	0.0%	-	-	-32
売上総利益	18,332	20.1%	21,174	21.5%	2,842
販管費	19,370	21.3%	18,698	18.9%	-672
営業利益	-1,038	-1.1%	2,476	2.5%	3,514
営業外損益	-552	-0.6%	-230	-0.2%	322
経常利益	-1,590	-1.7%	2,246	2.3%	3,836
特別損益	85	0.1%	11,029	11.2%	10,944
税引前当期純利益	-1,504	-1.7%	13,276	13.5%	14,780
法人税等	1,051	1.2%	1,847	1.9%	795
非支配株主当期純利益	10	0.0%	42	0.0%	31
親会社株主当期純利益	-2,566	-2.8%	11,387	11.5%	13,953

営業利益増減要因

- ✓ 物量増加や売価改善、費用圧縮等により35億円増加



- ✓ 欧米の一時的な運転資金需要に対応する外貨建て借入増
- ✓ 欧州事業再生手続きによる退職給付に係る負債の圧縮

(単位：百万円)

	20年度末	21年度 中間期末	比較 増減		20年度末	21年度 中間期末	比較 増減
手許資金	103,110	110,006	6,896	仕入債務	32,043	35,582	3,539
売上債権	48,774	44,888	-3,885	有利子負債	94,586	100,847	6,260
たな卸資産	82,010	85,762	3,752	その他	51,885	40,201	-11,684
その他	5,254	10,565	5,311	負債計	178,515	176,630	-1,885
流動資産計	239,149	251,223	12,074	純資産計	145,404	158,786	13,382
有形固定資産	68,046	67,414	-632	負債・純資産計	323,920	335,417	11,497
無形固定資産	1,692	1,867	175				
投資その他の資産	15,031	14,910	-120				
固定資産計	84,770	84,193	-577				
資産合計	323,920	335,417	11,497				

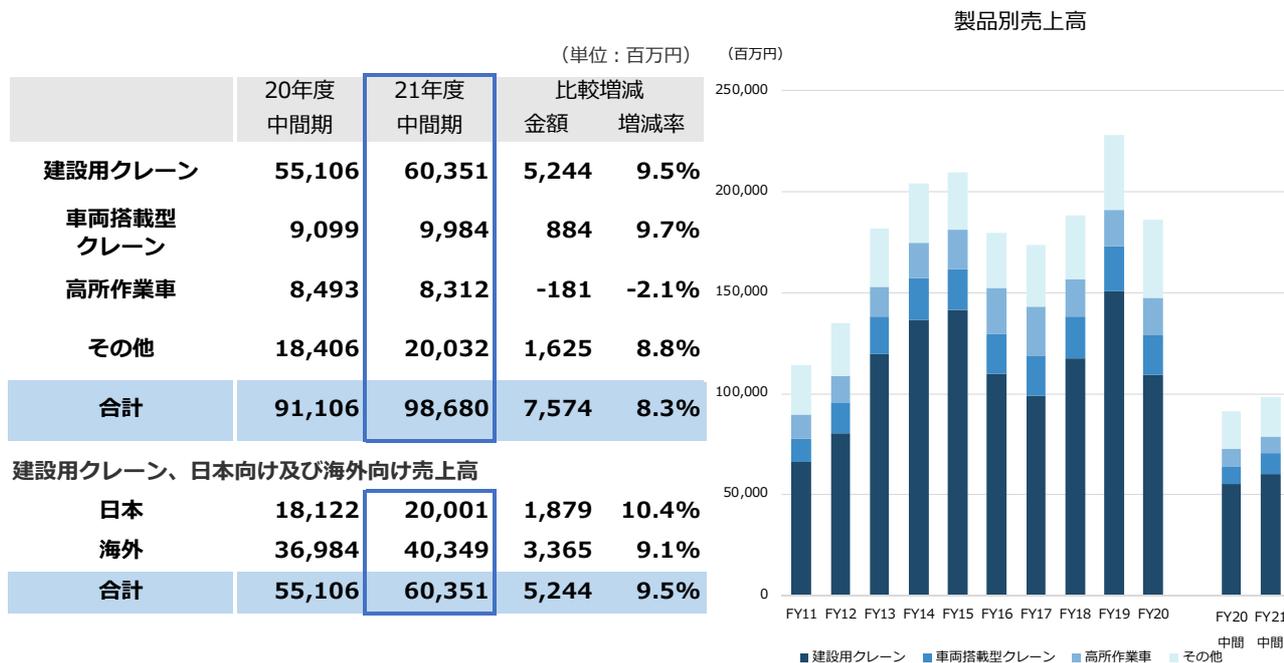
	20年度 中間期	20年度	21年度 中間期
売上債権回転期間	88.9日	95.7日	83.2日
たな卸資産回転期間	206.1日	160.9日	159.0日
自己資本比率	49.3%	44.5%	46.8%

- ✓ 税引き前利益の増加や売上債権の減少により、営業CFは増加

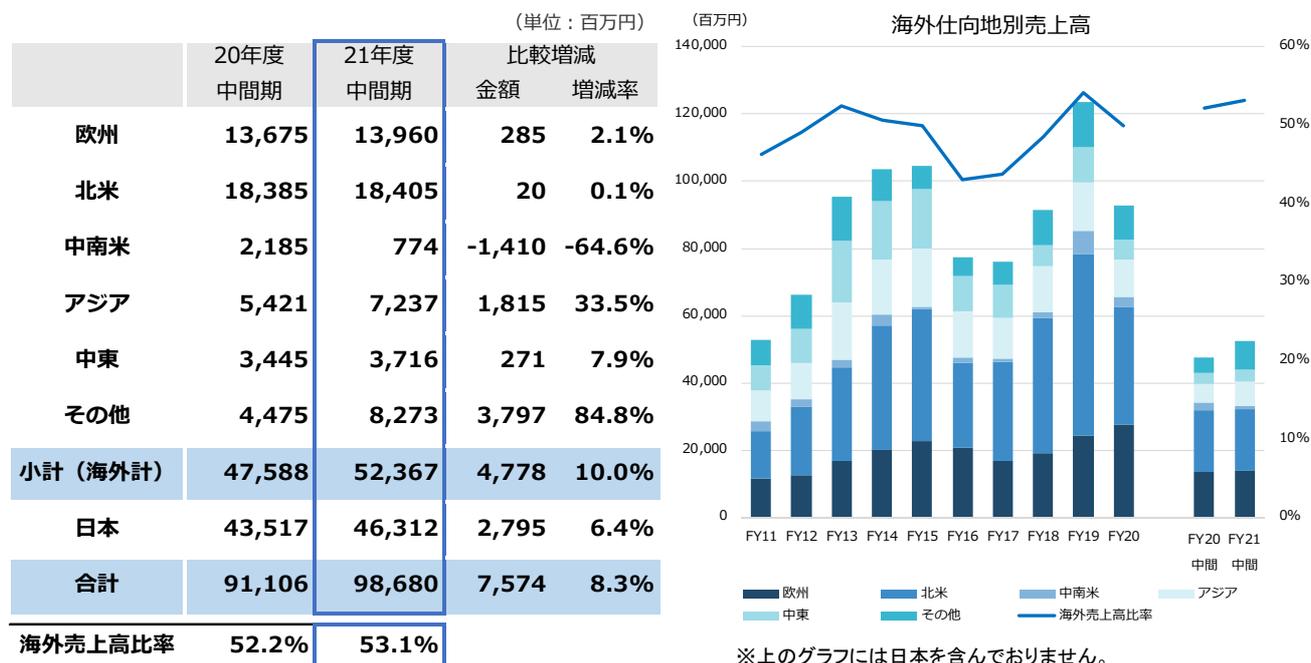
(単位：百万円)

		20年度 中間期	21年度 中間期	比較 増減
営業CF	税引き前利益	-1,504	13,276	14,780
	減価償却費	2,457	2,664	206
	売上債権増減	18,382	4,620	-13,761
	たな卸資産増減	-6,287	-1,177	5,109
	仕入債務増減	-15,244	2,518	17,763
	その他	428	-19,633	-20,061
	合計	-1,769	2,267	4,037
投資CF	合計	-2,010	-5,438	-3,428
財務CF	合計	20,294	4,503	-15,790
現金及び現金同等物の増減額		15,973	2,637	-13,336

✓ 高所作業車を除き、全製品セグメントにて増加



✓ 中南米を除き、全ての仕向地で増加



Appendix II

2021年度 通期業績予想の概要

28

21年度業績予想

(単位：百万円)

	20年度		21年度		増減率
	金額	比率	金額	比率	
売上高	186,040	100%	215,000	100%	15.6%
営業利益	-4,196	-2.3%	4,200	2.0%	-
経常利益	-4,683	-2.5%	3,400	1.6%	-
親会社株主当期純利益	-12,987	-7.0%	10,500	4.9%	-

USD	106.82円	下期	110.00円
EUR	121.81円	下期	130.00円

※下期における為替レート（USD・EUR）を10月29日付けで変更しております。

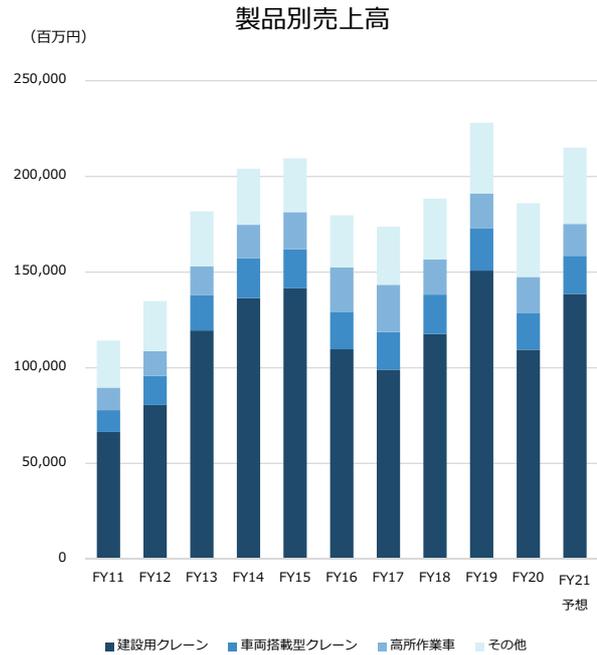
1株当たり配当金	中間	0.00円	中間	3.00円
	期末	3.00円	期末	4.00円
	年間	3.00円	年間	7.00円

通期の業績予想は、受注状況は順調なもの、部品調達の遅滞による生産の混乱、それによる欧州での生産遅れ長期化、世界的な原材料価格高騰等の影響が見込まれるため、修正は行っておりません。なお、配当予想も修正しておりません。

21年度製品別売上高予想

(単位：百万円)

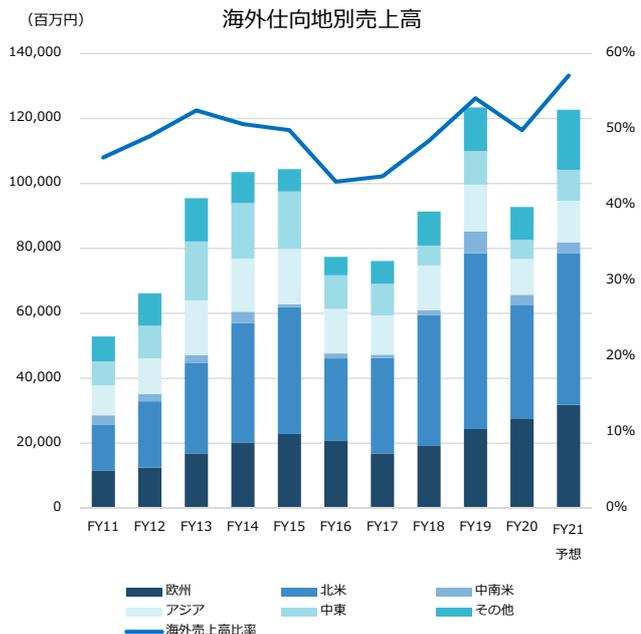
	20年度	21年度 予想	比較増減	
			金額	増減率
建設用クレーン	109,430	138,600	29,169	26.7%
車両搭載型クレーン	19,314	19,900	585	3.0%
高所作業車	18,701	16,700	-2,001	-10.7%
その他	38,593	39,800	1,206	3.1%
合計	186,040	215,000	28,959	15.6%
建設用クレーン、日本向け及び海外向け売上高				
日本	39,615	40,300	684	1.7%
海外	69,815	98,300	28,484	40.8%
合計	109,430	138,600	29,169	26.7%



21年度仕向地別売上高予想

(単位：百万円)

	20年度	21年度 予想	比較増減	
			金額	増減率
欧州	27,631	31,800	4,168	15.1%
北米	35,001	46,800	11,798	33.7%
中南米	3,092	3,300	207	6.7%
アジア	11,013	12,800	1,786	16.2%
中東	5,898	9,500	3,601	61.1%
その他	10,126	18,500	8,373	82.7%
小計(海外計)	92,763	122,700	29,936	32.3%
日本	93,277	92,300	-977	-1.0%
合計	186,040	215,000	28,959	15.6%
海外売上高比率	49.9%	57.1%		



※上のグラフには日本を含んでおりません。
※その他は、オセアニア、アフリカ、CISを含んでおります。